

# RCCP News Letter

第2号・Autumn 2017

京都女子大学 地域連携研究センター

## 京都市「学まち連携大学」促進事業の2年目を振り返って

地域連携研究センター長 竹安 栄子

### 『連携活動科目』の開設

「学まち連携大学」促進事業も2年目に入り、4年間の事業期間で最も活発な活動が期待されています。京都女子大学では、本事業の根幹である「連携活動を教育課程として実施する」という目的に向けて、今年度から共通領域（全学部・全学年が履修できる科目領域）の中に『連携活動科目』を開設しました。

昨年度まで、同じ共通領域の中の『教養科目』の一部として開講されていた企業による寄附講義5科目（1科目は平成29年度新設）に加え、今年度から導入科目である「連携活動入門」と「地域連携講座」（2科目）が始まりました。「連携活動入門」では、連携活動の社会的意義や連携活動に従事するに当たって心得ておくべき倫理事項など基本的な知識を学びます。「地域連携講座」では、2頁で紹介していますように、京都の多様な側面が具体的に理解できることを目指しています。

『連携活動科目』は連携活動を、単に「活動」に終わらせるのではなく、体系的な教育課程として構築することを目的として、平成31年度には副専攻化を予定しています。

### 連携プロジェクトの始動

連携活動の全学的展開を促進するために、連携プロジェクトを学内教職員に対して募集しました。その結果、4学部から9件の応募があり、4頁に掲げているように、すでに様々な活動が展開されています。後期には、学生たちの活動成果の発表の場を、色々な機会に設けていきたいと考えています。

### 連携活動の広がり

この半年間で新たな連携活動がいくつも誕生しました。授業にゲストスピーカーとしてご登壇いただいたのもその一つです。「地域連携講座」には、本学と包括協定を結んでいた京都府内の12の機関から授業を提供していただきました。それ以外にも東山区中小企業家同友会の企業家が複数の授業で体験にもとづいた講義を学生に聞かせてくださいま

した。ハイアットリージェンシー京都のミリアム・バリロ総支配人の英語講義は、学生に大きな感銘と励ましを与えてくれました。

ユニークな活動としては、京都アメリカ大学コンソーシアム（KCJS）との連携活動があります。KCJSは、日本語を学ぶ米国アイビーリーグの大学生の研究機関です。KCJSと京都女子大学の学生が、授業で共通テーマを巡って日本語で議論したり、会話することで、KCJSの日本語教育をお手伝いするとともに、本学の学生にとっては居ながらにして海外の大学生との交流を体験できる機会となっています。

「連携活動はまるで生き物だ」というのが、この半年間の率直な感想です。予想もしなかった連携活動の展開が次々と生まれ、育っています。学内の教員・学生の間に徐々に地域連携研究センターの活動が広まっていくのも嬉しい限りです。これも地域の多くの方々のご協力・ご理解があって初めて可能になることです。この場を借りて、お礼申し上げます。引き続き学生の教育に役立ち、かつ地域の皆様に少しでも資する活動を追求していきたいと思っています。ご支援、よろしく願い申し上げます。



祇園新橋景観保全キャンペーンにて

## 地域連携講座B2「京都の社会と連携活動」が実施されました。

講義では、地域社会として京都を理解するために、行政や企業、各種組織の最前線で活躍されている実務家をゲストスピーカーとしてお招きし、京都が直面している課題を解説し、その解決に向けての各機関の取り組みについてお話いただきました。

「様々な分野の実務家から、京都の社会や産業の実態を講じてもらうことで、学生たちは、京都市の実態と京都市が直面する課題を多角的な視点から理解し、また、課題解決に向けて、学生たちの地域貢献活動への主体的な参加意識を高める。」という目標を掲げてスタートした講義ですが、授業後のコメントペーパーからは、目標が一定程度達成されたと評価できると思われまます。また、ゲストスピーカーを申し出てくださる企業も増えつつあり、今後の期待が高まっています。以下、学生のコメントを授業後のコメントペーパーより抜粋してご紹介しています。

### 学生のコメント (コメントペーパーより抜粋)

- 今回、地域連携講座を受講し、自分の視野が大きく広がりました。受けることができ、本当によかったと思います。Uターン就職率が本学で高いのは、地域について深く考えるきっかけをつくっているこの地域連携講座のような講義の影響が大きいと思いました。(文学部 英文学科 2回生)
- 京都には世界トップクラスのB to B企業がたくさんあることを知り、興味がわきました。せっかく、京都の大学に通っているので進路を決めるときに検討したいです。また、講師の方のプレゼンのやり方が大変良かったので、参考にしたいと思いました。(文学部 英文学科 3回生)
- 観光客増加のグラフを見て、私をはじめ京都に来た時と、街の印象が違ってきていることに納得がきました。「学生のまち京都」という言葉を聞いたことはありましたが、具体的なデータは初めて知ることができました。住み始めて三年目になる京都について、より深く知ることができました。(文学部 史学科 3回生)
- 大学入学と同時に京都に出て来て、今では戸籍も京都なのですが、京都については知識不足だったので、大変勉強になりました。京都に住み、沢山の外国人の方や地域の方と繋がることができました。自分の生活の中でも、大学、地域、観光客すべての繋がり、連携を意識していきたいと思いました。(発達教育学部 教育学科 3回生)
- 京都の古い街並み、歴史、文化をどのように残していくかなど、京都について深く考えて知る機会となりました。また、課題点となっている観光客の急増や、結婚式の前撮りのことなど、これは京都市が抱える問題として、考えていく必要を感じました。このような課題解決には、行政だけが関わっていると思っていましたが、それだけでは解決できず、地域の住民の方々や、NPO法人などが関わっていることを知りました。(家政学部 生活福祉学科 3回生)

- 大学2回生から大学の近くで下宿をはじめ、自転車で気軽に河原町、京都駅方面に行くことができ、四季により変化する京都の魅力を感じています。私たちが考えている以上に京都市が抱えている問題は多く、これからの未来、悪い方向に進まないように、ひとりひとりが、真剣に考えていかなければならないと思いました。(家政学部 生活造形学科 3回生)
- 京都のことを学びたいと思い受講しましたが、受講して本当に良かったなと思っています。これから自分の視野を広げるために様々なことにチャレンジしていきたいです。(現代社会学部 現代社会学科 3回生)
- 街並みの混乱、コミュニティの衰退が京都の課題であることが分かりました。また、京都の地域社会は、元学区・町内会で成り立っているというのも初めて知りました。今後、コーディネート力や、マネジメント力を持って課題解決にあたる必要があると思いました。(現代社会学部 現代社会学科 2回生)
- 京都の美しい景観を守っているのは行政の指導によるものと思っていましたが、それに加えて地域の方々为主体になり動いているということを初めて知りました。今後も京都の景観について、自分自身も見守りたいと思います。(現代社会学部 現代社会学科 2回生)

### 授業概要

平成29年度 前期(4月～7月) 月曜日 2講時(10:35～12:05)

第1回	イントロダクション	本学教員
第2回	京都市の現状と課題	京都市役所
第3回	東山区の現状と課題	東山区役所
第4回	京都の景観	NPO法人京都景観フォーラム
第5回	共生社会を目指して	京都市立東山総合支援学校
第6回	「食の回転ドア」を考える	京都刑務所
第7回	マスメディアから見た京都	朝日新聞社
第8回	京都の台所	京都市中央卸売市場
第9回	伏見の酒造り	招徳酒造(株)
第10回	京都の観光	ハイアットリージェンシー京都
第11回	京都の経済と金融1	京都信用金庫
第12回	京都の経済と金融2	京都銀行
第13回	京都の経済と金融3	京都銀行
第14回	京都の企業	京都ジョブパーク・本学就職部長
第15回	総括	本学教員



## 祇園新橋景観づくり協議会

地域連携研究センターでは、NPO 法人京都景観フォーラムとの包括的な連携協定締結を機に、昨年度から祇園新橋まちづくり部の活動への協力を継続しています。

今年度も、景観づくり協議会設立総会、認定式典、地元イベントなどに参加し、お手伝いを行いました。

### 祇園新橋景観保全キャンペーンに学生が参加しました

平成 29 年 6 月 12 日には、地域住民、NPO 法人京都景観フォーラム、景観を考えるフォトグラファーの会、京都女子大学現代社会学部学生が協力し、今、地域で課題となっている結婚式の「前撮り」に対してマナー向上を訴えるキャンペーンを行いました。京都らしい風情を残す祇園新橋は、写真撮影のロケーション地として大変人気があり、日々多くの撮影が行われています。道路を占拠しての撮影は、通行を妨げたり、車との接触など安全面も心配され、前撮り業者と通行人が口論となり、警察に通報される事件も起こっています。撮影時に私有地に平気で入る、辰巳橋の欄干に座る、植え込み柵を乗り越えて植栽を傷つける等、地域の生活者に迷惑となる行為が後を絶たない状況です。

キャンペーン当日は、地域の方たちと共に日本語、英語、中国語で表記されたマナー向上を訴えるちらしを配布し、学生は、前撮り業者や観光客へ景観についての意識調査を行いました。

この様子を、NHK 京都、KBS 京都、テレビ大阪、京都新聞などのマスコミ各社に取り上げていただいたことで、活動の輪が少しずつ広がりをみせています。参加した学生からも大変よい経験ができた、自分たちも景観について考えるきっかけになったという声が聞かれました。

幸い、このキャンペーンをきっかけに、道路に毛氈を敷いて撮影するなど、目に余る行為が減ったと報告を受けています。

しかし、まだ課題が解決された訳ではありません。今後も引き続き地域の方や諸機関と協働して活動を継続することが重要です。活動を通じ、学生が地域課題について学び、課題解決を考える人材に育つことを期待しています。



祇園新橋景観づくり認定式後の鏡開きは、舞妓さん、芸妓さんも加わっていただき、華やかに行われました。



マナー向上を訴えるチラシを、日本語、英語、中国語で作成。(チラシデータ、裏表)



テレビ局の取材に答える学生



観光客に聞き取りを行いながら、撮影マナーの向上を訴える学生

## 「学まち連携プロジェクト学まち推進型連携活動補助事業」がスタートしています!

京都市「学まち連携大学促進事業」を推進するにあたり、教職員と学生が主体的に取り組む京都市内での連携活動に対して費用面で補助する事業の募集を昨年2月に行いました。

補助事業は、活動が4つの 이슈 (①子育てと高齢者支援 ②安心・安全まちづくり支援 ③京都・東山の歴史と文化 ④京都の産業支援) のいずれかに該当することを条件とし、下記の事業が「学まち連携事業推進委員会」で採択され、スタートしています。活動内容が新聞報道されるプロジェクトもあり、成果が期待されます。各々のプロジェクトの活動内容については、来年3月発行予定の地域連携研究センター Annual Report 2017にて、ご報告する予定です。

### 平成29年度 学まち連携プロジェクト(学まち推進型連携活動補助事業)一覧

事業名・申請者	連携先	イシュー別4領域のうち、該当する領域
馬町空襲の歴史を学び語り継ぐ取り組み 坂口 満宏 [文学部 史学科 教授]	馬町空襲を語り継ぐ会 京都市立東山総合支援学校	③京都・東山の歴史と文化
京都刑務所「矯正展」における造形ワークショップ “ワクワク工作キャラバン” 矢野 真 [発達教育学部 児童学科 教授]	京都刑務所	②安心安全・まちづくり支援
乳幼児期の子ども・子育て支援実践と、支援者養成 瀬々倉 玉奈 [発達教育学部 児童学科 准教授]	市内保健センター 児童館	①子育てと高齢者支援 ②安心安全・まちづくり支援
現代のライフスタイルに合った綴織の商品開発 青木 美保子 [家政学部 生活造形学科 准教授]	綴織技術保存会 奏絲綴苑	④京都の産業支援
京都の糸の新たな可能性 渡邊 敬子 [家政学部 生活造形学科 准教授]	株式会社 フジックス ジャスミン	②京都・東山の歴史と文化 ④京都の産業支援
東山区における町内会運営の現状と防災活動に関する調査研究 奥井 亜紗子 [現代社会学部 現代社会学科 准教授]	東山区役所	①子育てと高齢者支援 ②安心安全・まちづくり支援
「京都に生きる女性たち」聞き書きプロジェクト 森久 聡 [現代社会学部 現代社会学科 准教授]	京都市(京都市在住の女性や 京都市内勤務の女性など)	③京都・東山の歴史と文化
KWU小学生プログラミングコンテスト 丸野 由希 [現代社会学部 現代社会学科 講師]	京都市内の小学校	①子育てと高齢者支援 ④京都の産業支援
京女まち歩きオープンデータソン 桂 まに子 [司書課程 講師]	京都市東山図書館 オープンデータ京都実践会 まちづくりカフェ@東山	③京都・東山の歴史と文化

イシュー別4領域 | ①子育てと高齢者支援 ②安心・安全まちづくり支援 ③京都・東山の歴史と文化 ④京都の産業支援

### 編集後記

今回の連携活動 TOPICS に取り上げる記事の選択には、どの活動をご紹介するか大変迷いました。取り上げたい活動が前号からの半年間で確実に増え、活動の輪が広がっていることを大変嬉しく思います。今回は、地域連携講座(「京都の社会と連携活動」)と地域、NPO法人、本学が一体となった祇園新橋での活動をクローズアップして紹介しています。その他、日々の活動については、地域連携研究センターのホームページでも随時、ご紹介しています。年度末発行予定の、Annual Report 2017 では、連携活動に従事した教員の原稿を掲載する予定です。(M.O T.I)



### 編集・発行

京都女子大学地域連携研究センター  
京都市東山区今熊野北日吉町35  
TEL.075-531-7080  
Mail: r-suishin@kyoto-wu.ac.jp  
URL: http://rccp.kyoto-wu.ac.jp